

藤和けんこう通信



2017年3月号 VOL.77

高齢者様向けサービス始めました♪

発行元：藤和ビジョン株式会社（訪問マッサージ・はりきゅう/エステ/転倒予防トレーニング）
相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482 二俣川院045-442-5439 青葉台院045-508-9560

いつまでも元気に♪高齢者様向けサービスを始めました♪

在宅・介護施設入居者様向けサービス

訪問マッサージ鍼灸



何事も思いやりを持って
親身になって対応します。



こころと体をほぐします♪



↑介護家族者向け
マッサージ体験会も
やっています！！

介護施設入居者様向けサービス

トレーニングサービス

転倒・骨折予防



いつまでも元気に♪



転倒・骨折を予防

介護施設入居者様向けサービス

エステ



いつまでもキレイに♪



様々な高齢者様向けイベントを行っています！
←『表情筋マッサージ体操』開催の様子
表情筋が衰えると・無表情に・改善を！！

何事も思いやりを持って対応します！



馬場悦子

矢内秀幸

佐藤文子

石井武司

若本大輔

大野佑介

長谷川佳汰

代永涼子

山上鏡

小池順一

村山朋洋

細田篤矢

小形沙織

吉野智子

須藤 新

長谷川加代

佐藤浩剛

松岡大輔

村山直樹

小木野典史

近藤マチ子

岩本友保

宮田大輔

中村匡志

矢部恵

小野寺義則

渡邊真之

添田真理子

「表情筋マッサージ体操」開催しました！



2月15日そんぼの家大和様にて当社(藤和エステ)のエスティシャン中山が講師としてお伺いし、健康でいつまでも若々しく過ごすためのお話と、簡単に出来るセルフマッサージやお顔の体操を行いました。表情筋が衰えると、無表情になりなかなか明るい表情が難しくなりますので、いつもまでも元気に明るくをモットー！に開催させていただきました。とても好評でした♪

【無料ミニ出張講座】

転倒予防トレーニングミニ講座開催しています！



内容

・あなたの転倒危険度チェック！・転倒予防トレーニング実践♪

- ◎費用：無料
- ◎対象者：介護施設ご入居者様
- ◎場所：介護施設へ出張し、食堂等の広間をお借りします
- ◎開催日：平日の午後の時間帯でご相談に応じます
- ◎時間：約45分程度

吉野家

YOSHINOYA



～介護食にも登場♪～

吉野家のやさしいごはん

という名前で出ています。

あの牛丼の吉野家がとうとう介護食にも登場♪

介護食用牛丼の具として、ご高齢の方、特に咀嚼・嚥下機能が低下されている方にも、「吉野家の牛丼を、いつまでもおいしく、楽しく、お召しあがりいただきたい」という思いから誕生した商品のようです。



「やわらかタイプ」



「きざみタイプ」

吉野家の店で食べる「牛丼のおいしさ」はそのままに、介護食として食塩相当量を1袋・1食当たり0.9gに調整し、食べやすさと健康に配慮されていて

弱い力でも噛めるよう小さく加工した「やわらかタイプ」と舌で潰せるまで刻んだ「きざみタイプ」の2種類があります♪

はい！うまい！
安い！

うまい！やわらか！
食べやすい！

決して、決して…宣伝ではありません。個人的に素敵♪(^_^)と感じたので掲載いたしました。(海老名院：石井)



◎医療・介護関連ニュース◎



高所得高齢者、介護保険負担を2割→3割に引き上げ…閣議決定

(2017年2月7日読売新聞)

政府は7日、「地域包括ケアシステム強化法案」を閣議決定した。一定の所得以上の高齢者が介護サービス利用時に払う自己負担割合を、2018年8月から3割に引き上げる介護保険法の改正案や、障害者総合支援法の改正案、社会福祉法の改正案などが含まれる。厚生労働省によると、介護サービスの自己負担が3割に引き上げられるのは、現在、2割負担している人のうち、単身者の場合で年収340万円(年金収入のみの場合は344万円)以上、夫婦世帯では年収463万円以上。対象は利用者の約3%(約12万人)という。塩崎厚労相は7日の閣議後記者会見で、「3割負担の対象は特に所得の高い人だ。制度改正では、低所得者の負担を据え置くなど様々な配慮をした」として理解を求めた。高齢者の介護の必要度を示す「要介護度」を維持・改善した市町村を財政的に支援する仕組みも、18年度から導入する。要介護度を低く保つことでサービス給付を抑え、40歳以上の人が高齢者の介護保険料の上昇を抑えるのが狙い。17年度中に具体的な評価指標を決める。リハビリ職と連携した介護予防の取り組み状況や、個々の利用者の介護計画が適切かどうかを専門職が検討する会議の開催状況などを評価対象とする見込みだ。

「赤ちゃんポスト」神戸で準備…国内2例目、助産院で

(2017年2月10日朝日新聞)

親が育てられない子供を匿名で預かる「このとりのゆりかご(赤ちゃんポスト)」を関西にも設けることを目指している団体が9日、神戸市北区の「マナ助産院」(3床、永原郁子院長)で開設を準備することを決めた。ただ「ゆりかご」には医師がいなければならない、嘱託の医師と契約するなどして神戸市の理解を得たいとしている。団体は医師や弁護士らで作る「このとりのゆりかごin関西」(大阪府箕面市、理事長=人見滋樹・京都大名誉教授)。熊本市の慈恵病院に続く2番目の「ゆりかご」開設を目指している。この日、大阪市内で開いた理事会で、設置費を約800万円、運営費を年1000万円以上と見積もり、寄付金や会費などで、マナ助産院を支援することなどを決めた。開設時期は未定。マナ助産院は助産師や看護師ら計12人が勤務。理事会終了後、人見理事長らとともに記者会見した永原院長は「二つ目のゆりかごができれば、各地で開設する動きが加速するはずだ。宿った命を大事にする社会にしたい」と語った。神戸市によると、受け入れた赤ちゃんを医療機関に搬送するかどうかの判断は、医師法に基づき、医師が行わなければならない。

自宅や施設で最期を迎える割合に地域差…「看取り率」最大1.3倍

(2017年1月12日読売新聞)

病院ではなく自宅や老人ホームなど生活の場で亡くなる人の割合に、自治体間で大きな差があることが厚生労働省研究班の調査でわかった。2014年の全死亡者から事故や自殺などを除き、「看取りみと率」として算出したもので、人口20万人以上は約3倍、3万人以上20万人未満では約1.3倍の開きがあった。背景に在宅医療・介護体制の違いがあるとみられ、「最期は自宅で」の望みがかなうかどうかは、住む場所によって決まる実態がうかがえる。人口動態調査(14年)の全死亡例を基に、自治体ごとに病院や自宅など、どこで亡くなったのかを分析。孤立死などを除外できなかったが、より看取りの実態に近い数値だという。データがしっかりしていた全国1504市区町村の集計では、病院の看取り率が78.6%、自宅や老人ホームなどでの「地域看取り率」は21.4%だった。12年度の内閣府調査で、最期を迎える場所に自宅や老人ホームなどを希望した人が6割を超えているのと比べると、希望と現実の違いがある。市区町村別の地域看取り率をみると、人口20万人以上では神奈川県横須賀市が35.4%で最も高く、最も低い愛知県豊田市は11.6%だった。3万人以上20万人未満の最高は兵庫県豊岡市の43.5%、最低は福岡県岡垣町の3.3%。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ

TOWA
藤和

とうわ
藤和マッサージ

【訪問マッサージ・はりきゅう】

相模原院 ☎042-855-0420

町田院 ☎042-851-7528

海老名院 ☎046-204-5482

二俣川院 ☎045-442-5439

青葉台院 ☎045-508-9560

エステ・転倒予防トレーニング ☎0120-900-894

相模原市南区南台4-13-23-1階

町田市森野4-17-23-2階-B

海老名市中央3-3-13-202

横浜市旭区二俣川1-32-100

横浜市青葉区榎が丘14-3-205